

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	衣料品専門店（経営者）	・当店としてはやれることをやっており、売上も上がっている。
	やや良くなる	乗用車販売店（管理担当）	・最大需要期である1～3月に合わせて新車種が発表され、客の関心が非常に高まっている。ここ2、3か月は新車効果が出る。
		高級レストラン（スタッフ）	・1月の後半から宴会等が少し増えて、予約も入っている。客の様子も一時期の厳しい感じはない。
		テーマパーク（職員）	・ゴルフ場は、有名選手がトーナメントに來たり、コース改造やゴルフ教室ができるなど、プラス材料が多い。ただアミューズメント部門でファミリー客が落ち込む。
		変わらない	商店街（代表者）
	百貨店（営業担当）		・春物の動きを見る限り、前年比9割ペースで動く。
	百貨店（営業担当）		・春物商戦は通常3月だったものが2月にずれ込む。2月の売行きで良いか悪いかが判明する。
	百貨店（売場担当）		・昨年、近くに大型商業施設がオープンした影響で厳しい状況が続く。
	百貨店（売場担当）		・今月は12月に比べて前年実績に近い数字を上げており、良くなると見ることもできるが、他の大型商業施設では2店舗とも前年実績を上回っており、予断を許さない状況である。
	スーパー（店長）		・ディスカウントストアのような価格を前面に打ち出している業態に対しての客の反応が良い。一般的なスーパーやGMSは停滞感がある。
	スーパー（店長）		・当面は必需品だけを購入し、耐久財を必要な時に買うような状況が続く。また、酒税の増税前はまとめ買いがあるかもしれないが、増税後はかなり厳しくなる。
	コンビニ（店長）		・単価下落が続く状況で、今後も回復する見込みが薄い。
	衣料品専門店（店長）		・入学卒業シーズンということで、商品の動きがあるが、先行きが見通せないので財布のヒモが堅い。
	乗用車販売店（従業員）		・新卒者もなかなか職が決まらず、決算を迎える会社も先が見えない。
	高級レストラン（経営者）		・例年1、2月は最低の売上になるので、これ以上は悪くならない。
	一般レストラン（スタッフ）		・政策に期待できず、個人負担が重くなっている。今悪くても頑張れば将来良くなると見通しが立たない。
	都市型ホテル（スタッフ）		・今後の予約状況を見る限り、改善する見通しは立たない。
	旅行代理店（従業員）		・春休みの家族旅行を中心に予約が少し戻っている。
	タクシー運転手	・観光客が減る時期になるが、ゴルフパックなどで寒いところから人が来るのでなんとか横ばいを維持できる。	
	観光名所（職員）	・景気が上向く施策が見えてこないで、同じような状態が続く。個人消費が上向かないとどうにもならず、いくら営業をしても意味がない。	
ゴルフ場（従業員）	・プレ-代を若干下げたところで客は来ない。客は金を使いたがらない。特にホテル、ゴルフ場などは大きな打撃を受けている。若干の明るい兆しとして、韓国、台湾の客が増えているということがあげられる。		
パチンコ店（店員）	・客の経済状況も非常に悪く、年度替わりでより悪くなる。		
住宅販売会社（従業員）	・税制改正がある程度は寄与しても、伸びはあまり期待できない。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・景気対策が迷走していて、構造改革も遅々として進んでおらず、消費者もどう動いているのか迷っている。そのため、消費マインドはさらに冷え込む。	
	百貨店（売場主任）	・市内にあった百貨店が閉店し、当店1店舗になったが、閉店した店舗が今年の1月にあげた売上の約4分の1しかとれなかった。残りの4分の3が消えており、消費の落ち込みは非常に厳しい。	
	百貨店（営業担当）	・初売りは好調だったが、イベント性のあるもの以外は伸びていない。催事も、駅弁大会や食品関係は前年並だったが、他は悪い。不要不急なものは買わない傾向が続いている。	
	百貨店（営業担当）	・企業決算が集中する時期であり、その内容次第である。イラク問題が深刻になれば、ますます景気が後退する。	
	百貨店（営業担当）	・自店舗から車で10分ほどのところに大型ショッピングセンターがあるので、半年くらいは非常に厳しい状況が続く。	

	百貨店（業務担当）	・商品の動きを見る限り、全体を押し上げるだけのヒット商品がない。春物衣料、フレッシューズの動きも非常に静かで、消費マインドに大きな変化は見られない。	
	スーパー（店長）	・食品はある程度堅調だったのが、生鮮品の鮮魚、精肉、野菜の落ち込みが著しい。冬物のバーゲンの動きを見ても、無駄な物は買わない、辛抱するという動きが例年に比べてかなり目立つ。	
	スーパー（店長）	・4月からの税制や社会保障制度の変更に伴い、身の回り品への支出に対する目は一層厳しくなる。単価下落、点数下落、単価ダウンはさらに顕著になる。	
	スーパー（経理担当）	・九州地方の企業淘汰は一段落し、攻勢をかけてくる域外の企業が増えたため、再び大競争時代が訪れる。	
	コンビニ（エリア担当）	・他のコンビニとの競争が売上低下の原因となっているが、最近ではスーパーの営業時間延長によっても客が減少している。コンビニ業界も有効な対策を打ち出さなければ生き残れない。	
	コンビニ（販売促進担当）	・半額セールだとよく飛びつくが、2割引くらいでは反応が鈍い。3割引でやっと反応が見られる程度である。セールをしない時は安くなるまで待とうという傾向が見られる。	
	衣料品専門店（総務担当）	・単価が下落しており売上が見込めない。売上がバーゲンに集中するなど、客も安くなるのを見越して買いに来る。	
	住関連専門店（経営者）	・家具等の需要の冷え込みは当分回復しそうにない。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	・支社、支店の統廃合や縮小が進んでいるようで、周辺の事務所ビルの空室率が高まっている。そのため、ビジネスマンやOLの来客数が少なくなっている。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・取引先の信用調査をしているが、内容悪化、不良売掛け発生といった件数が3か月前と比べて増えている。中小企業はどンドンつぶれていきそうである。	
	スナック（店長）	・これから景気が良くなる見込みは非常に厳しく、29年やってきたスナックを1月9日で廃業した。これからは焼酎ブームの中で、居酒屋を守っていくのが精一杯である。	
	旅行代理店（業務担当）	・アメリカ大統領のイラク攻撃発言で戦争への不安が高まり、2、3か月先の旅行の申込が手控えられている。	
	タクシー運転手	・タクシーを利用する料金を少しでも節約しようという動きが見られる。少しでも安くすませようと、家のずっと手前で降りる客もいる。	
	設計事務所（所長）	・計画、企画という先を見通せる物件がないという情報が入っている。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅需要が上向き可能性がない。雇用情勢が不安で家を持つ計画を持った客が減っている。	
悪くなる	商店街（代表者）	・商店街から2店舗廃業し、空き店舗がどんどん増えている。3月には市内に大型店がオープンするので困っている。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	・最近、納品業者の入金状態が悪くなったとか、仕入先の請求が早くなったといった話が増えている。	
	百貨店（販売促進担当）	・1月はクリアランスで良かったが、2、3月は安くすることができないので悪くなる。	
	コンビニ（経営者）	・建設関係の作業員の来客数の激減し、厳しい状態が続く。	
	衣料品専門店（経理担当）	・客は安い物しか買わないし、見ても買おうという気持ちにならない。新聞、テレビの刺激を情報聞いてますます悪くなると思って、買い控えをしている。	
	高級レストラン（経営者）	・4月に市長選、知事選、県議選が控えており、選挙活動で忙しく、高級料亭には足を向けてくれなくなる。また、汚職の問題があるので議員もそういうところは利用しないのでかなり悪くなる。	
	スナック（経営者）	・客の入りが悪いとされる2月でも、以前は中旬頃から毎週金曜日ころになると、上層部、支店長、部長や次長等の異動があり、送別会の2次会があったが、今は異動の時期が不規則でいつ転動したのかわからなくなっている。とにかく経費を節減する会社が増えていてどうしようもない。	
企業動向関連	良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・会社全体と社員の意識改革ができ、自分たちでやるしかないという意識がやっと定着した。
	やや良くなる	食料品製造業（専務）	・この先、選挙が続くのでいくらか良くなる。
		通信業（職員）	・受注量そのものは多少なりとも増えている。年度末を控え、さらに受注が増える見通しだが、受注価格は非常に厳しく、上向いたとしてもわずかな伸びである。
		広告代理店（従業員）	・今のところ新規出店などプラス材料しか見当たらない。

	変わらない	一般機械器具製造業（経営者） 電気機械器具製造業（経営者） 建設業（総務担当）	・自動車関連以外の取引先の新規案件の見積りもなく、先行き不透明である。 ・大手半導体メーカーは今年に入ってから話はたくさん来ているが、大口の仕事量の決定が延び延びになっている。また、企業格差が出始めている。 ・来月大きな工事が完成するが、次の工事が始まり工事が切れなくなった。半年先くらいまで見通せるようになってい	
	やや悪くなる	家具製造業（従業員） 金属製品製造業（企画担当） 輸送用機械器具製造業（営業担当） 輸送業（総務担当） 金融業（調査担当）	・取引ではどの会社も現金回収の比率を増やしている。 ・開発投資が必要な商品でも、市場性やコスト最優先の売価が制定されると開発投資もできないが、そういう傾向がずっと続く。 ・海外での生産に切り替えているため。 ・全体的に荷動きが悪くなっている。近くの小売店では倒産が相次いでおり、荷動きも回復せず、しばらくは悪い。 ・決算期を控え、資金繰りが悪化する。	
	悪くなる	不動産業（従業員）	・企業融資に対する金融機関の態度が萎縮する一方であり、各担当者からも金融機関自体の先行きに疑問の声が聞かれており、企業の先行きも不安視される。	
	雇用 関連	良くなる	-	-
		やや良くなる	人材派遣会社（社員） 求人情報誌製作会社（総務担当）	・新年度に向けて新しい需要が出てきて、少しは上向くが、数字に現れるほどの改善は期待できない。 ・3月決算を控え、倒産社数は増えるが、勝ち負けがはっきりするため、伸びる企業はますます伸びて、それに引っ張られて他も良くなっていく。
		変わらない	職業安定所（職員）	・大型の雇用を期待できるような企業誘致の情報がない。
やや悪くなる		求人情報誌製作会社（編集者） 職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（支店長）	・競争力のない企業の求人力が低下している。大手量販店の進出に伴い、アウトソーシング向けの企業が進出してきたり、飲食関連のフランチャイズ店が進出するなど、どの業界もオーバーマーケットになっている。 ・不良債権処理に伴い、離職者が増加する。 ・年度末の需要が、歯止めのきかないマイナスになっており、4月以降も厳しい局面が続く。	
悪くなる		-	-	